

大阪・関西万博に向けた主な取組状況（農林水産省）

1. 当省の機運醸成に関する取組

（１）これまでの主な取組

- 農林水産省から全国農業協同組合中央会（全中）に、ＪＡ等でのポスター・チラシ配布や、農協観光によるＪＡ等への万博来場を含む視察旅行の提案等を通じたチケットの販売促進を依頼。これを受け、全中は１月３１日に全都道府県の中央会の役員に対し上記内容について各都道府県での協力要請を実施。
- 農水省関連イベント等におけるＰＲ（ポスター掲示、チラシ配布等）

R6.7 「第６回国際和食産業展」
 R6.10 「FOOD STYLE Japan2024/ラーメン産業展 in Japan」
 R6.10 「第２回 身欠きふぐ調理技術大会」
 R6.11 日本みどりのプロジェクト推進協議会主催シンポジウム
 R6.12 「1204 和食セッション～次世代に繋ぐ和食の集い～」
 R6.12 「第７回食文化による郷土づくりカンファレンス」
 R7.1 ニッポンの食の未来を考えるイベント「食と生きる」
 R7.1 ニッポンフードシフトフェス大阪
 R7.2 ジビエ料理コンテスト表彰式
 R7.2 第２回海業推進全国協議会 等

- 外交機会を通じた万博のＰＲ、参加要請、多数の来場要請

R6.8 香港特別行政区政務長官代理
 R6.9 アルゼンチン経済省副大臣、ブラジル農業開発・家族農業大臣
 R7.1 ドイツ・豪州・フィンランド政府要人（農業大臣等）、オランダ農業省農業局副局長

（２）今後の主な取組

（１）の取組をさらに推進・フォローアップするとともに、

- ＢＵＺＺＭＡＦＦ（チャンネル登録者１７万人）における情報発信を、本年４月までに開始予定
- 地方参事官（５３人）が、自治体や農業委員会、地域イベント、地域農業再生協議会など農業者が構成員となっている会議等に直接出向き、万博のＰＲやチラシの配布を実施

2. テーマウィーク出展の準備状況等

万博において以下の取組を行うこととし、準備を推進

- EXP0 メッセにおける、「食と暮らしの未来ウィーク」での食文化発信や、農林水産業に関する先端技術等に関する展示、試食等（６月８～１５日（予定）、別添参照）
- ＦＬＥ（フューチャーライフエクスペリエンス）における、「木材利用促進「ウッド・チェンジ」」についての情報発信（９月２３日～２９日（予定））
- ギャラリーEASTにおける、花き園芸文化を通じた２０２７年国際園芸博覧会についての情報発信（９月２３日～２７日（予定））

農林水産省は、2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)へ出展します



大阪・関西万博
公式キャラクター
ミヤクミヤク



「つなぐ」をキーワードに、食・農林水産業について、日本国内で紡がれてきた伝統、各地域で育まれてきた多様性、未来で活用が見込まれる最先端技術等について、17以上の部局が展示を予定しています。

6月7日～8日、14日～15日には、ポップアップステージ西においてもイベントを実施します。



農林水産省

©Expo 2025



ポップアップ
ステージ西 EXPO メッセ
「WASSE」

図例: 2025年日本国際博覧会 会場
図例はイメージです。実際の会場は、開催地が異なる場合
がございます。また、本図例の掲載は、一概に限りません。